

千年の森便り No.143

2015.6.19

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennenomori@hotmail.co.jp

活動の記録

5月23日(土) 晴 臨時活動日

全伐地区植生調査などのため、臨時活動を行いました。参加は赤松、新井通子、真鍋の3人。

○植生調査 植生調査は新井さんを二人で手伝い、6区画終了しました。全部で20区画のうち、通算8区画終了し、12区画が残っています。

○植物観察と保護

昨秋ツチアケビの保護金網を取り外し、春に保護していなかったため食害が懸念されていましたが、千年広場脇(C)に3株、巨木林柵内(D)に5株健在で蕾を着けていました。ホテイアケビ(A)と島入口(B)は株がありません。食害の痕跡も無いので出芽しなかったものと思われます。千年広場脇の3株は金網でガードし裾もガードしました。橋の下のウメガサソウは開花始めていました。イチヤクソウは蕾を沢山つけ、森はヤマボウシやガマズミなどの白い花で賑やかでした。

○トビとカワウの雛

トビの巣には成長した雛が1羽確認出来ましたが、他の2羽は無事巣立ったのか姿が見えません。



ツチアケビの蕾 5/23 赤松



ウメガサソウ 5/23 真鍋



トビの雛 5/23 赤松

カワウの雛はみな巣立ち、湖や樹の枝でぎょうぎょうしく鳴いていました。(真鍋)

6月14日(日) 曇時々小雨

参加は新井通子、鶴沢、苅米、久我夫妻、栗山、中田利明さんと子供たち、根本、福島、細谷、真鍋、村野、山口、吉澤、この日新入会の成沢会員、そして体験参加の及川さんも加わり合計20名。

朝一番全員でニホンシカ調査の後、小雨のぱらつく森で、グループに分かれてヒメコマツ周辺の下草刈り、全伐地区の植生調査、植物観察調査、ホコラ山ネズ周辺での伐採、水辺清掃等に精を出しました。子供達も生きもの探しに大活躍でした。(真鍋)



○ニホンシカ生息状況調査

2015年度1回目のニホンシカ生息状況調査を行いました。調査時間は10:00~10:45。いつものように島内を7コースに分かれて踏査し、シカ(目撃、声、足音)とその痕跡(フン、足跡)を探索しました。

今回は、島の北岸で、1コースの鶴沢さんと2コースの村野さんが10:08頃にシカ2頭を目撃しました。この2頭は、湖に飛び込んですぐに対岸に泳いで行ったとのこと。また、足跡、フンも島内の数か所で確認されました。6月については、昨年はシカの発見はありませんでしたが、一昨年はバンビと♀2頭が記録されており、島を比較的に利用している月と考えられます。(福島)

○植物観察

ケイワタバコ；シカ調査の帰りにケイワタバコを見てきました。つぼみがあり、もうすぐ開花しそうではありましたが、残念ながら今回も開花したところを見ることはできませんでした。（福島）

ツチアケビ；5月23日蕾をつけていたツチアケビ8株のうち、千年広場脇の3株は黒変して枯れ、巨木林保護柵内5株のうち2株は黒変して枯れ、2株は黒変進行中、1株は1枝だけ開花、他の枝は黒変進行中でした。近いうちに地上部は全滅する可能性があります。（豊英島のツチアケビの状況は、全ての自生地についてモニタリング調査継続中です。今年7月までの状況を別途「豊英島のツチアケビ」に整理し、中間報告します。）

ウメガサソウ；橋の下のウメガサソウは、すでに花が終わっていました。新井さんが、千年広場近くに新たにウメガサソウを発見しました。通路に1株だけですが、林内に多数株自生している可能性があります。2ヶ所そこそこの株を見逃さない新井さんの観察眼に脱帽です。

このほか；10mを超える高木にイワガラミがよじ登って花をつけ、アワブキも花盛り、イチヤクソウ、キヨスミギボウシ、シモツクなど咲き乱れ、ミヤマウグイスカグラなど美しい実を付けていました（真鍋）



ツチアケビ* 6/14 真鍋



ケイワタバコ(蕾) 6/14 福島



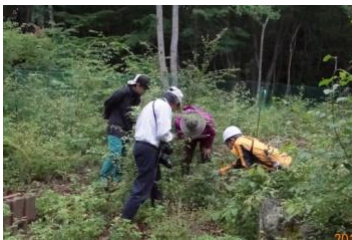
イワガラミ 6/14 栗山



アワブキ 6/14 栗山

*前頁 5/23 撮影のツチアケビと同じ群落です。比較してご覧下さい。

○全伐地区植生調査



小雨がなかなか止まずテントの中で待機したりで、調査を開始したのは午後からとなってしまいました。

栗山さん、福島さん、吉澤さん、細谷さんも参加してくださったおかげで2区画終了、5月23日に臨時調査をした時スティックを立てた要確認種も確認出来たの



オカトラノオ 6/14 真鍋

で、残すはC・D計10区画になりました。

印象的だったのは柵入口のコナラ-葉数も増え丈も伸びましたし、カラスザンショウとアカメガシワは先駆植物と言われる所以ですね、生長のなんと早いこと。白い蕾のオカトラノオ、そして緑の小さい蕾が出来始めたオケラでしょうか。

今月はあと2回（18日と22日か23日）調査をすることになっています。ご都合の付く方は22~23日、応援宜しくお願いします。（新井）

○ヒメコマツ植栽地の下刈り

ヒメコマツが灌木や雑草等に被圧されてきたため、刈り払いを行いました。ヒメコマツを傷つけないように注意を払いながら、ヒメコマツの周囲を中心的に作業しました。植栽区域内には、ヒメコマツの他にも、アカマツ、モミといった樹種も生えていました。また、1本だけユリが生えていたので、ユリも残しました。今後とも房総のヒメコマツを見守っていきたいと思います。（成沢）



○環境整備（水辺の清掃）

ホコラ山近くの水辺やホテイ竹林の水辺を歩きながら、漂着ゴミの収集をしました。ペットボトルやガラスの空き瓶、プラスチックの破片などが多く、収集したゴミは家に持ち帰り処分します。（久我）

○ホコラ山ネズ周辺の伐採

4月にホコラ山にあるネズの木保護のため、樹冠を覆っているコナラ10本を伐採木として選んだ内の、祠の裏手にある双幹樹3本を含む5本を伐採しました。

ホコラ山の伐採のため祠にお神酒、盛塩をお供えして安全を祈願、伐採木を酒と塩で清めた後作業開始、伐採木はすべて崖側に倒しましたが一部掛り木となっているため、処理が済むまで付近に近づかないようお願いいたします。シカ調査コース①の頭上にも掛かっているので十分注意してください。

祠裏手の一本のネズの周辺は明るさを取り戻しました。今後の成長を見守って行きましょう。

広葉樹の伐採は高度の技術を要しますがヒヤリハットは無く無事作業を終えました。（作業は整備班の苅米、山口、村野、根本とオブザバー及川さん）次回（8月）は、祠前方の2本のネズを保護するため今回同様の伐採と掛り木の処理を行う予定です。

千年の森広場脇に小さな切り株テーブルができました。樹齢50年前後のコナラの切り株（約長70cm×幅40cm×高60cm）の上部を20cm程切り戻し水平にカットしてテーブルにリメイクしました。カット面に虫食い穴が3個あり、その形状が可愛いうさぎの顔に見えるので皆さんに好評でした。切り取った上部部位を椅子代わりにし「切り株テーブル」でコーヒーなど如何でしょうか。（根本）

○野鳥記録

活動時に確認できた鳥類のリストです。

カルガモ 3、カワウ 2、シジュウカラ 声、
キビタキ さえずり、ホトトギス 声、
ヒヨドリ 声 メジロ 1+声、 コゲラ 声、
トビ 1+声

以上9種でした。（福島）



メジロ 6/14 智貴君



トビ 6/14 中田利明

○中田家子供たちの生きもの探し

中田智貴くんがヒバカリを捕まえました。2014年10月以来の記録です。また樹液がたくさん出ているコナラで、クワガタをたくさん見つけました。この木には、オオスズメバチも来ていました。（福島）



智貴&裕志君はクワガタ探し



クワガタがいっぱい



ヒバカリ 6/14 智貴君



オオスズメバチ 6/14 智貴君



オオカマキリ 6/14 智貴君



キノコも色々 6/14 智貴君



ヘビやクワガタをじっくり観察する朱音と千晴嬢

この日お母さんはお休みでしたが、子供達はみな、生きもの探しと観察を存分に楽しみました。智貴君はカメラマンとしても大活躍。帰りには森のお土産を持ち帰り、夕食に美味しく食べたそうです。（真鍋）



縁あって本日初めて活動に参加させていただきました。子供さん達から人生の諸先輩方まで様々な年齢層の方が参加されたアットホームな雰囲気の中での和気あいあいとした活動に混ぜていただき、普段の作業中心のボランティア活動とはまた別の里山の楽しみ方を知ることができ、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

また、午後からの森林整備（伐採）では、今までに経験した造園業と林業でのそれぞれ独特の伐採に対する考え・方法とは別の環境林での伐採の実際を拝見、教えていただきました。とても良い学習機会となりました。お礼申し上げます。

6月18日（木）曇後雨 広場物置の撤去と新物置設置、植生調査のため臨時活動日

参加は新井通子、大原、久我夫妻、根本、村野の6名。

旧物置の撤去中は雨も降らず順調な作業でしたが、柱を建てる段階で、断続的に激しい雨に合い皆さん濡れ鼠で悪戦苦闘しました。大原さんの指導で何とか格好が付けられました。雨の中でも皆さんの協力で楽しく作業できました。

○旧物置の撤去

テントの中身を全部外に取り出してから、屋根に張っていたブルーシートを剥がし、朽ちた丸太の骨組みを外しました。土手をえぐった炭焼き窯の跡と言われていましたが、入口が狭くきんちゃく形の穴が現れ窯跡とうなづけます。

○新物置の骨組み

1.8m四方にコナラ材を4等分にした柱（2.5m）を掘立し基本の大きさにしました。梁を兼ねた補強材も上記同材で組み付けました。本日は骨組みで終了しました。

・旧物置に入っていた資材は久我さんに整理整頓していただきました。骨組みの全体を覆うブルーシートを雨避けの仮屋根にし、搬出した荷物を再び収めました。



・今後の予定 作業は大原さんの都合で9月以降となります。

屋根材は半割りした竹を使い、防水シートを張る予定。棚は広く大きなものを予定しています。壁材については次回までに検討します。コナラ材は腐りやすいので土中部のメンテナンスが必要になるかもしれません。

○植生調査 新井さんも雨の中、合羽代わりにビニール袋を被り同様に苦戦でした。作業は順調で残りの区域は僅かとなりました。次回は6月22日又は23日を調査日としておりますので、ご協力できる方は新井さんまでご連絡ください。

！！ハプニング

昼食時、テーブルの屋根代わりのブルーシートに雨水が溜まり、その重みで支えていた竹が一部割れてシートと共に崩落し一同飛び上がりました。けが人はありませんでしたが竹の骨組みも老朽化しているので至急撤去し更新する必要があります。

（以上 根本）

お知らせ

○会員の入会

6月14日、千葉市中央区 成沢 知広（なりさわ ともひろ）さんが入会されました。県森林研究所勤務です。宜しくお願いします。6月14日現在会員数は40名です。

○夏のキノコ観察会

添付の実施要領で吹春講師指導のキノコ観察会を7月20日に実施します。会員以外の一般の方々もホームページに掲載し、参加者を募っています。定員に達し次第募集を打ち切りますので、会員は早めに「ちば千年の森をつくる会」メール sennennomori@hotmail.co.jp宛申込み下さい。

○「ちば里山カレッジ 里山ボランティア養成コース」受講者募集のご案内

今回は千葉地区で実施されます。募集チラシは、特定非営利活動法人ちば里山センターのホームページ (<http://chiba-satoyama.net/>) に掲載されています。受講をご検討ください。

ちば里山カレッジ 問合せ&申込み：特非) ちば里山センター 電話：0438-62-8895
メール：info@chiba-satoyama.net